議題1：地域における防犯活動の活性化について（名古屋市提出）

	市名	各市の状況
1	名古屋市	
2	豊橋市	・子ども見まもり隊や自治会などを対象とした防犯教育講座の実施 ・自治会や商店街が設置する防犯カメラに対する補助制度 ・子ども見まもり隊や青パト隊、自主防犯団体に対するパトロール物品の配付及び貸与 上記について会議や広報誌にて周知し、地域における防犯活動の活性化の働きかけをしている。
3	岡崎市	特になし
4	一宮市	・年度初めから各町内会の防犯委員を招致して、一宮警察署警察官とともに市内の犯罪情勢や防犯対策を説明。（23連区） ・市民パトロール隊に所属する市民を招致して、部外講師による防犯指導を行う。（年2回） ・市民の防犯意識の向上を図るため、安全・安心フォーラムを開催。（毎年12月） ・市民の申し出により、防犯講話を実施。（平成28年度31回） ・犯罪情勢や各小学校区の犯罪発生状況を記載した「一宮市民パトロール隊通信」を毎月作成し、市内の青色パトロール隊などに対して周知している。 市内のテレビ局・FMラジオ局を通じて、情報提供を実施。 ・毎週開催される一宮警察署幹部会議に参加し、犯罪情勢や不審者情報を入手する。
5	瀬戸市	警察や地域団体、防犯推進団体と連携した啓発事業を通して、防犯活動に参加していただくことで、地域ぐるみの防犯対策を進めている。活動への参加者に若い世代が少ないのが今後の課題といえる。
6	半田市	特になし
7	春日井市	平成7年から春日井安全アカデミー（防犯、防災に特化した市民大学）を開校している。そして、平成11年から同アカデミーの卒業生によるボランティア団体「安全・安心まちづくりボニター」を結成（H29.4.1現在409名）し、こども防犯教室、児童見守り、防犯診断、地域マップ作成、DIG・HUG指導、市総合防災訓練の参加等多岐にわたる活動をしている。安全アカデミー講師からは「全国で市民大学は開催されているが、得た知識を活用する場所、機会がないと思っている方が多い。」との意見があった。 市民にやらせるのではなく、ある程度行政側が道筋をたて組織作りに関わらないと、ボランティア活動したいと思っている方も動けないのではないか。
8	豊川市	・地域の防犯ボランティア団体に対し、活動経費に対する支援として補助金を交付している。一律に均等な額として17,000円。そのほか、会員数や青色パトロール車の登録台数に応じた額を交付しており、団体により25,000円から60,000円を交付している。 ・年に1回、各団体の代表者が集まり、他団体との情報共有や意見交換をする場を設けている。
9	津島市	津島警察署と連携して年度ごとに「安全パトロール隊」を結成し委嘱している。 本市としては、地域全体の防犯意識の向上を図り、犯罪のない安全で住みよいまちづくりに貢献していただく、防犯ボランティア「つしまみまもり隊」に登録していただき「地域の目」として活動していただいている。
10	碧南市	年2回、自主防犯ボランティア団体のリーダー等を対象に研修会を開催していますが、活性化につながっているとは言えない現状です。
11	刈谷市	年2回、市・警察・各地区パトロール隊長が出席する、パトロール隊長会議を開催して、防犯活動に関する情報交換の場を設けている。

議題1：地域における防犯活動の活性化について（名古屋市提出）

市名		各市の状況
12	豊田市	本市の「地域防犯リーダー養成講座」では、各自主防犯活動団体（登録数：380団体）に対して受講者を募集し、団体の中核となって活動を推進していく方が推薦され、受講している。そのため、受講後の活動状況は確認していないが、各団体での活動に活かされていると考えている。
13	安城市	平成26年度及び平成28年度に、安城市防犯ボランティアリーダー養成講座を開催して現在53名の方が活動しています。主にはキャンペーンなどの活動情報を市が提供し、リーダーが参加する形が主ですが、リーダー自らが地元の行事等で防犯企画を行う機会も増えています。 地元町内会の集会にて啓発品を配布して防犯講話をしたり、公民館講座でBOKEN愛知の簡易版を実施したり、駅前歩行者天国で防犯かるたを実施したり、小学校での不審者侵入対策訓練や防犯教室などのスタッフとしても活動しています。市としては今後もリーダー養成を行い、地域防犯を担う自主的な人材を確保していきたいと考えています。
14	西尾市	各季の安全なまちづくり県民運動において、自主防犯団体へ向けて市および警察と共同の街頭啓発活動を呼びかけている。
15	蒲郡市	地域における犯罪防止を目的として、地域で自主的に防犯パトロールを行う団体に対して、防犯活動支援資機材を配布しております。
16	犬山市	特になし
17	常滑市	毎年度、市内に防犯モデル地区（1地区）を設定し、防犯パトロールなどの啓発活動を自主的に行っていただいている。
18	江南市	地元からの要請に応じ、市職員の運転する青色回転灯装備車に地元の防犯パトロール隊員が同乗し、マイクによる合同啓発活動を行っている。
19	小牧市	・ボランティアで防犯パトロールを行う団体に対し、補助金（立上げ初年度20万円、次年度以降10万円、青パト使用団体30万円を上限）を交付して、活動を支援している。 ・年3回程度、自主防犯パトロール団体の代表者会を開催し、団体間の情報交換の場を設けたり、県や警察と連携した講座を開催して活性化を図っている。
20	稲沢市	地域安全推進リーダー研修会を実施しています。
21	新城市	地域自治区制度を活用し、地域の防犯団体の育成に努めているが、既存の団体でも高齢化が進み活動の活性化には、つながっていないのが現状です。
22	東海市	・県主催の防犯ボランティア養成アカデミーの開催 ・青色防犯パトロール団体への支援事業(交付金)の実施
23	大府市	地域パトロール隊の青色防犯パトロール車両申請手続きの代行を行っている。また、青色防犯パトロール車の青色回転灯購入費の補助を実施している。（大府市の地域等自主防犯ボランティア団体所有台数：66台）
24	知多市	地域の防犯活動を活性化するため各期の安全なまちづくり県民運動期間中に、市内のコミュニティへ依頼し、街頭啓発活動を実施してもらう。 また、12月中に地区事業として防犯パトロールを実施する地区が多数あり、市、警察署は、青色防犯パトロール車やパトカーで地区を巡回し支援している。このほか、地域で防犯活動を実施していただける方へ市からベストや帽子の貸与・配布を行っている。
25	知立市	本市の自主防犯団体活性化についての事業（取り組み）につきまして、毎年年度ごとで、活動の回数により奨励金を支払う制度があります。その他、町内会が青色回転灯パトロール車を町内独自で所有できない場合、青色回転灯パトロール車を貸し出しを行っています。

議題1：地域における防犯活動の活性化について（名古屋市提出）

市名		各市の状況
26	尾張旭市	地域防犯団体に対し、青色帽子、点滅誘導灯、反射ベスト等の配布を行なっていますが、平成29年度から地域防犯パトロール活動費補助金として、青色防犯パトロールを行っている団体に対し新たに補助金を支給します。
27	高浜市	本市では、現在のところ、防犯リーダー養成講座は開催しておりません。 町内会代表者、まちづくり協議会（各小学校区の町内会、PTA、子ども会等で構成する地域団体）、警察、行政で構成する高浜市防犯ネットワーク会議を通じて、計画した防犯活動に積極的参加していただくよう会議の中で呼びかけ、自主防犯団体と一緒になって防犯活動を推進しています。 一方、まちづくり協議会には防犯活動に関する交付金を支給しており、夜間の青色パトロール等、地域の自主防犯団体による自主的な取り組みも実施しております。
28	岩倉市	安全・安心なまちとするために実施する地域安全パトロール隊等を対象に赤色灯、防犯チョッキ、腕章等の防犯備品を貸与している。 また、区や自治会、地域安全パトロール隊等を対象に、防犯カメラ等の防犯設備の整備並びに携帯用拡声機等の防犯に必要な備品の購入費や維持管理のための修繕費に対する補助を行っている。
29	豊明市	防犯リーダー養成講座は実施していませんが、やる気のある人や地区などは、物資や講習会などについて、積極的に支援しています。
30	日進市	地区の防犯団体の支援（ベスト、帽子等）行い、「安心安全推進大会（イベント）」として活動報告を各団体の参加者に行い、活性化を図っている。
31	田原市	市内で防犯パトロールを実施する団体の活動を支援するため、必要な防犯パトロール用品を支給 H28：ベスト94着 帽子101個、H29：ベスト37着　帽子37個
32	愛西市	市内のイベント等を防犯意識の啓発場所の一つと考え、各種イベントへの参加を促し、会場内の防犯パトロール・啓発活動等を行っていただいている。また地域での活動を住民に認識をしていただけるよう、活動中に着用するベスト等啓発資材及び配布用の資材を提供し積極的な活動を行える環境整備を進めている。
33	清須市	・自主防犯団体への資器材の提供 ・青色回転灯装備車両による定期的なパトロール活動 ・各地域への防犯のぼり、看板の配布 ・西枇杷島警察署員による防犯講話の依頼
34	北名古屋市	特になし
35	弥富市	本市では、「防犯リーダー養成講座」を受講される方は、地域の防犯活動を現在行っている方であり、特に防犯活動を活性化させる働きかけは行っていおりません。
36	みよし市	・防犯パトロール隊への資材配布（年1回） ・防犯パトロール隊ネットワーク会議での意見交換会の実施（年4回）
37	あま市	本市では、年1回以上自主防犯団体情報交換会を開催し、警察による防犯講話、自主防犯団体間での情報の共有を行っている。また、自主防犯団体に対して、構成人数に比例して防犯資機材を配布することにより各防犯団体の防犯意識をたかめ、活動の活性化を図っている。
38	長久手市	愛知県主催の防犯ボランティア養成アカデミーを開催することで、市民の防犯意識の向上を図った。 個人でも防犯活動が実施できるようにジョギングパトロール（防犯に関連したバンダナ・ベストを身につけて散歩・ジョギングをする）支援事業を平成28年度より開始した。